

特定外来生物（要緊急対処特定外来生物）

ヒアリ

昆虫綱 ハチ目 アリ科 *Solenopsis invicta*

生態系被害防止
外来種リストの区分

侵入予防外来種

日本の侵略的外来種ワースト 100

世界の侵略的外来種ワースト 100

哺乳類

鳥類

昆虫類

両生類

魚類

昆虫類

甲殻類

クモ類

貝類

植物

基礎情報

原産地

- ・南米中部

現在の分布

- ・世界では、アメリカ合衆国、カリブ諸島、オーストラリア、ニュージーランド、中国、台湾などに移入
- ・国内では、2017年に神戸港で確認されて以降、18都道府県、110件の確認事例がある(2023年10月末時点)。
- ・本県では、2017年に弥富市での確認以降、16件(のべ4,000個体以上)の確認事例がある(2023年10月末時点)。主に港湾地区のコンテナ内やその移動先で確認されているが、定着は確認されていない。

侵入の経緯

- ・船や飛行機に積まれたコンテナや貨物にまぎれ込んで侵入してきたと考えられる。

形態

【働きアリ】

- ・体長 2.5~6.0mm、同じ巣の働きアリでも様々な大きさのものがある。体形は細長い。
- ・頭部~胸部は赤褐色、腹部は暗褐色。全身に立毛が多いが目立たず、光沢を帯びて見える。
- ・触角は先端の2節が棍棒上に膨らみ、全体で10節からなる(他属は棍棒部が3節、触覚全体で11節)。
- ・前伸腹節(胸に見える部分の一番後ろの体節)にトゲや突起がない。
- ・腹柄は2節で、コブ状

【女王アリ】

- ・体長 7~8mm。羽化した時には翅があるが、交尾後には翅を落とす。

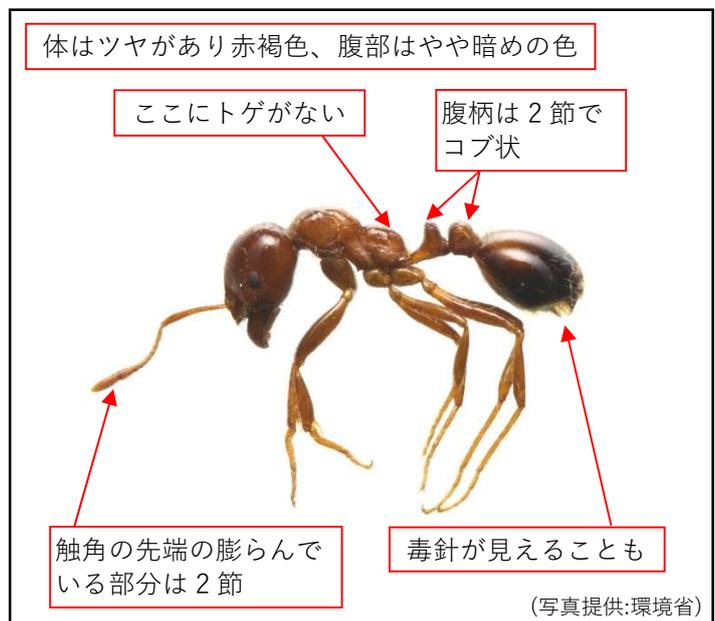


県内分布図(2023年)

本県におけるヒアリの確認事例

No	確認年月日	確認地点	確認場所	発見数
1	2017/6/30	弥富市 鍋田ふ頭	コンテナ上部	7個体
2	2017/7/10	春日井市	倉庫内	6個体
	2017/7/12	飛鳥村	飛鳥ふ頭 コンテナ内	11個体
3	2017/8/4	弥富市	鍋田ふ頭 コンテナ内	約100個体
4	2017/9/1	名古屋市	船見ふ頭 コンテナ内	約1,000個体
5	2017/10/3	弥富市	鍋田ふ頭 コンテナターミナル内	2個体
6	2017/11/7	弥富市	鍋田ふ頭 コンテナ内	7個体
7	2018/7/5	飛鳥村	飛鳥ふ頭 コンテナ内	約20個体
8	2018/7/20	瀬戸市	コンテナ内	約320個体
9	2018/8/22	小牧市	コンテナ内	約20個体
	2018/8/23	弥富市	鍋田ふ頭 コンテナ内	約50個体
10	2019/2/18	菱西市	倉庫内	約30個体
	2019/2/19	飛鳥村	飛鳥ふ頭 コンテナ内	2個体
11	2020/9/12,15	飛鳥村	飛鳥ふ頭 歩道、事業者敷地内	700個体以上
	2020/9/18~23	飛鳥村	飛鳥ふ頭 歩道、事業者敷地内	1,000個体以上
12	2020/10/18	飛鳥村	飛鳥ふ頭 コンテナヤード	約70個体
13	2021/8/6	常滑市	事業者敷地内	数百個体
	2021/8/10	弥富市	鍋田ふ頭 コンテナ内	数十個体
14	2021/9/28	弥富市	鍋田ふ頭 コンテナヤード	約45個体
15	2022/6/23	弥富市	鍋田ふ頭 コンテナヤード	100個体以上
16	2023/6/20	弥富市	鍋田ふ頭 コンテナヤード	約300個体

*愛知県資料より(2023年は10月末時点の情報)



(写真提供:環境省)

ヒアリ (働きアリ)

生息環境

・公園、芝生・緑地、水辺、畑地など、日当たりの良い開放的な場所を好んで巣をつくる。

生態・ライフサイクル

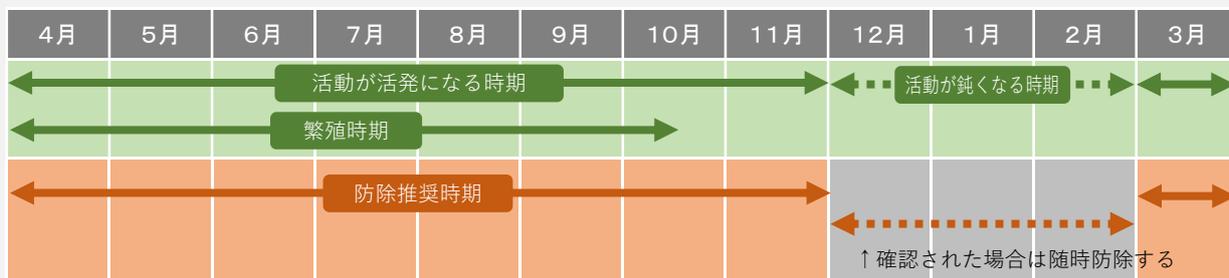
- ・食性は雑食性で、節足動物、トカゲなどの小型脊椎動物、樹液、花蜜、種子などをエサとする。
- ・草地などの開けた空間、コンクリートやアスファルトの隙間に入り込み、巣(アリ塚)を作る。女王アリと多くの働きアリが集団で生活する。他のアリに比べ産卵数が多く、繁殖力が高い。
- ・非常に攻撃的で、巣を刺激されると集団で襲いかかり、腹部の針で何度も繰り返し刺す。



ヒアリの巣 (アリ塚)

(写真提供:環境省)

【ライフサイクル・防除推奨時期】



類似種との識別ポイント

【ヒアリ類(ヒアリ・アカカミアリ等)の簡易同定】

・発見したアリをルーペ等で観察し、以下の①～⑥のいずれかに該当する場合は、ヒアリ類(ヒアリ・アカカミアリ等)ではない。なお、本種とアカカミアリとの識別は専門家による確認が必要である。

- ① 体色は黒い (ヒアリ類は赤褐色)
- ② 体長 2.5mm 以下の小さなアリ、6mm を超える大きなアリ (働きアリに限る)
- ③ 働きアリの大きさが均一でそろっている (ヒアリ類は大きさがバラバラ)
- ④ 足が 8 本ある (ヒアリ類は 6 本、類似種のアリグモ類は 8 本)
- ⑤ 胸部と腹部の間のコブ(腹柄)が 1 節 (ヒアリ類の腹柄は 2 節)
- ⑥ 腹部後端が鋭く尖る (ヒアリ類は尖らない)

・ヒアリと間違われて通報される事が多い種として、ヤガタアリグモ、キイロシリアゲアリ(女王アリ)がいる。

ヤガタアリグモ (在来種)	キイロシリアゲアリ (在来種)
<p>①体長 5～7mm。</p> <p>②頭は黒色、胸は赤色、腹部は橙・黒・黄色。</p> <p>③頭は四角く角ばる。腹は細長く、後端が尖る。</p> <p>④脚は 8 本。ただし、前の 2 本を持ち上げて触覚のように見せてアリに擬態する。</p> <p>⑤群れることはない (単独で生活)。</p>	<p>①体長は働きアリで 2～3mm、女王アリで 5～7mm。</p> <p>②全身が黄褐色、女王はやや濃い(橙色に見えることが多い)。</p> <p>③腹の後端は鋭く尖り、上に向かって弱く反る(女王では働きアリほど目立たない)。</p> <p>④女王の出現は 9 月。結婚飛行後の個体が一時的に 1 ヶ所に固まることもある。</p>



- 哺乳類
- 鳥類
- は虫類
- 両生類
- 魚類
- 昆虫類
- 甲殻類
- クモ類
- 貝類
- 植物

影響・被害

- ・日本の在来アリを駆逐したり、小動物を捕食する。海外では希少種にも影響が出ている。
- ・農作物に食害を与え、家畜を襲ったりする。農業者が頻繁に刺されるため、海外では耕作放棄が増えるなどの影響が出ている。輸入品にヒアリが混入すると、物流にも大きな支障が出る。
- ・刺されると強い痛みが生じ、体質等によっては強いアレルギー反応を起こすおそれがある。犬や猫などのペットも、刺されると重い症状を起こすことがある。本県における刺傷事例はない(2023年時点)。
- ・公園や河川敷でのレジャーを安心して楽しむことができなくなるおそれがある。ガーデニング、家庭菜園にも支障が出る。
- ・電気設備に巣をつくり、信号機や空港の着陸灯を故障させる。電線をかじって停電を引き起こしたり、ショートさせて火災の原因となることもある。

生息・被害の確認方法

- ・ベイト(誘引エサ)を地面に直接設置するか、プラスチック製の容器の中にベイトを置き、地面に設置。一定間隔(6m程度)で設置し、40~50分程経過した後に集まったアリを確認する。捕獲の際は、容器のふたを閉めるか、殺虫処理の上で回収する。
- ・粘着式のトラップを一定間隔(6m程度)で地面に数日間(3~4日間)設置する。
- ・営巣する可能性のあるコンテナヤード等の施設や土地で、舗装面の割れ目やコンクリートと舗装面の隙間などの点検を行い、働きアリや巣の有無を確認する。
- ・コンテナの開封時、空コンテナのメンテナンスの際に、コンテナや荷物などに本種が付着していないかを確認する。



ベイト(スナック菓子)に集まるヒアリ

防除方法

- ・新たな侵入を防止する。少数の場合は、市販のスプレー式殺虫剤等を用いて駆除する。
- ・集団や巣を見つけた場合は、県または環境省に連絡し、専門家等の助言を得ながら駆除を行う。

推奨時期

- ・気温が上がり活動が活発になる3~11月の防除が推奨される(気温が低い冬は活動が鈍くなる)。
- ・拡散を防止するため、発見された場合はその都度すみやかに駆除することが望ましい。

具体的な防除方法

① 疑わしいアリを発見した時

- ・市販のスプレー式殺虫剤等を用いて殺虫する。殺虫した個体をピンセット等で採取する。
- ・採取したアリをルーペ等で観察し、【ヒアリ類(ヒアリ・アカカミアリ等)の簡易同定】(前ページに掲載)により識別する。また、接写機能付きのデジタルカメラを用いて写真を撮影する。
- ・肉眼や写真での観察により、ヒアリ類である疑いが深まった場合、愛知県自然環境課または環境省中部地方環境事務所(ヒアリ相談ダイヤル:0570-046-110)に連絡する。
- ・採取個体は最終的な識別に用いるため、サンプルとして保管しておく(70%以上アルコール浸漬等)。複数あることが望ましい。

② ヒアリの数が少ない場合

- ・全ての個体をすぐに殺虫できる場合、即効性のスプレー式殺虫剤や熱湯を用いて駆除する。
- ・多数の個体が確認された場合や、ヒアリが逃げ出してしまいそうな時、また、荷物の隙間やテナ内に多数潜んでいる可能性が高い場合は、刺激を与えないよう静置し、専門家の指示を仰ぐ。

③ ヒアリの数が多い場合、目視で確認できない場所に隠れているおそれがある場合

- ・集団や巣を刺激しない。まずは分布範囲を特定し、専門家の指示を仰ぎながら駆除を実施する。
- ・ヒア리를拡散させないように注意しながら、液剤(即効性)、液剤(遅効性)、ベイト剤(遅効性)、くん蒸剤・くん煙剤のいずれかを状況に応じて選択、または併用する。また、拡散を防止するため、状況に応じて、周囲に粘着トラップや忌避剤を併置する。なお、**地面での営巣が見つかった際は、遅効性のもも含めて液剤の使用は極力控える**(女王アリを含む生き残りがコロニーごと逃げ出してしまうことがあるため)。
- ・上記と並行し、周囲の調査を実施し、周囲に女王を含む巣(コロニー)が存在するか、その可能性が考えられる場合は、既に過去に女王アリが逃げ出している可能性を考慮して、周辺 2km 程度の調査を、目視やトラップを用いて行う。

作業上の注意点等

- ・作業中に手や足を刺されないよう、必ず保護手袋(厚手のゴム手袋等)や長袖、長ズボン、靴下を着用し、肌を出さないようにする。
- ・殺虫剤を使用する際は、人やペット、人が触る場所にかからないよう配慮する。また、動かなくなっても完全に死んでいない可能性があり、死んでいても針が刺さることがあるため、素手で触らない。
- ・1匹見つかれば周囲にも潜んでいたたり、巣がある可能性もあるため、周りをよく確認したり、駆除後も定期的に確認をする。
- ・むやみにベイト剤をおくと、在来のアリやその他の生物を殺してしまい、かえってヒアリが定着しやすい環境をつくってしまうおそれがある。
- ・現場を離れる前に全身をよく払い、アリを衣服につけて運んでしまうことのないよう注意する。
- ・生きたまま保管・運搬等することは原則禁止されているため要注意(行う場合は手続等が必要)である。

【刺された時の対応】

- ・刺された瞬間に熱いと感じるような激しい痛みを感じる。パニックにならず、刺された場所をタオルや保冷剤などで冷やし、20~30分程度安静にして様子を見る。その際、1人にならないようにする。
- ・刺された部位に小さな赤みが出て、翌日には膿がたまったようになるが、その後は徐々に改善していく。
- ・息苦しさや口の乾き、冷や汗、めまい、血圧低下、しびれ、嘔吐、じんましん等、全身に症状がでた場合はアナフィラキシーショックの可能性があるので、すぐに医療機関で受診するか救急車を呼ぶ。受診の際は、アリに刺されたことを伝えるようにする。

出典・参考資料

- ・要緊急対処特定外来生物ヒアリに関する情報(環境省 自然環境局) <https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/hiari.html>
- ・日本の外来種対策 > 外来種写真集(環境省 自然環境局) <https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>
- ・特定外来生物同定マニュアル 昆虫類(環境省 自然環境局) https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/6hp_konchurui2.pdf
- ・ヒアリの防除に関する基本的考え方 Ver.3.2(環境省 自然環境局,2022) ・ヒアリ同定マニュアル Ver.3.0(環境省 自然環境局,2023)
- ・改訂版ストップ・ザ・ヒアリ(環境省 自然環境局,2019) ・ヒアリ類対処指針冊子(環境省 自然環境局,2023)
- ・福岡県ヒアリ等対応マニュアル(福岡県,2018) ・外来アリ同定・解説マニュアル(寺山守,2021)
- ・長野県版外来種対策ハンドブック~みんなで守る信州の自然~(長野県,2020)
- ・ヒアリ・アカカミアリの見分け方(確認方法)を紹介しています(兵庫県) https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk20/hiari-akakamiari_miwakekata.html
- ・愛知県の外来種 ブルーデータブックあいち 2021(愛知県,2021) p.92 ヒアリ(坂本洋典)

哺乳類

鳥類

は虫類

両生類

魚類

昆虫類

甲殻類

クモ類

貝類

植物